

就業履歴の蓄積数向上

前田道路、コムテックスの 入退場管理システム導入

前田道路がコムテックス（富山高岡市、竹脇正貴社長）の建設キャリアアップシステム（CCUS）認定・入退場管理システムを導入し、現場で就業履歴蓄積数が向上している。カードリーダーの運用が困難な現場でも電話発信だけで就業履歴を登録できる。

建設DXソリューションを取り扱うコムテックスが提供、導入支援を行う「キャリアリンク」は入退用の電話番号が書かれたPDFを現場に掲示。技能者の携帯電話やスマートフォンから電話をかけるだけで入退場管理ができる。工事の進捗（しんちよく）で現場が大きく移動する高速道路の現場や現場事務所が離れたトンネル、橋梁の現場などで大きな効果を発揮する。

前田道路が掲げる2023年度の就業履歴蓄積数目標は6万8000。上期は目標3万4000を上回り、3万5500（9月末時点）を達成した。24年度に現場での技能者登録率、事業者登録率100%を目指す。

